

新製品  
紹介

ネットワーク対応性能を高めた  
パーソナルステーション新3機種



パーソナルステーション “FLORA 3010CS”

パーソナルステーション“FLORA”シリーズに、新たに3機種を加えました。ネットワーク上でのパソコン利用の高まるニーズに対応したもので、よりフレキシブルなシステムの構築を実現します。

1. 主な特長

(1) 「FLORA 3020H モデルSV」

現行の“FLORA 3020H”の上位モデルで、中・小規模LANシステムのサーバとして利用可能な高速処理マシンです。最大8.4 Gバイトまでディスク容量を拡張できるほか、信頼性がさらに高まりました。

(2) “FLORA 3010CS”

A4ファイルサイズの大きさに、拡張スロット2スロ

ットを内蔵し、省スペース化を実現しました。LANボードなどを組み合わせてサーバへアクセスしながらパソコン通信を同時に行えるなど、ネットワークへの対応力と拡張性を向上させました。

(3) “FLORA 3010NT”

A4サイズのノート型でJEIDAカードスロットを内蔵し、パソコンLANへ接続が可能です。

2. 主な仕様

“FLORA”シリーズ新3機種の主な仕様を表1に示します。

(日立製作所 コンピュータ事業本部)

表1 主な仕様

| 項 目               |             |  | 仕 様                                  |                                                        |                                                                                       |
|-------------------|-------------|--|--------------------------------------|--------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 品 名               |             |  | FLORA 3020H モデルSV                    | FLORA 3010CS                                           | FLORA 3010NT                                                                          |
| C P U             |             |  | i486 <sup>TM</sup> * DX2 CPU(66 MHz) | i486 <sup>TM</sup> * SX CPU(25 MHz)                    | i386 <sup>TM</sup> * SX CPU(25 MHz)                                                   |
| 数 値 演 算 プ ロ セ ッ サ |             |  | CPUに内蔵                               | —                                                      | —                                                                                     |
| メ モ リ             |             |  | 4 (標準) ~ 20 Mバイト                     | 3.8 (標準) ~ 11.8 Mバイト                                   | 2 (標準) ~ 10 Mバイト                                                                      |
| 内 蔵 ファ イ ル        | F D D       |  | 3.5インチ×1台                            |                                                        |                                                                                       |
|                   | H D D       |  | 400 Mバイト                             | 60 Mバイト・80 Mバイト                                        | 80 Mバイト                                                                               |
| 表 示               | デ ィ ス プ レ イ |  | 15インチカラーCRT                          | 9.4インチ<br>TFTカラー液晶                                     | 9.8インチ<br>STN白黒液晶                                                                     |
|                   | 解 像 度       |  | 1,120×780, 640×480                   | 640×480                                                |                                                                                       |
| 拡 張 ス ロ ッ ト       |             |  | EISA×6**                             | 2                                                      | PCMCIA (JEIDA V4.1) ×1                                                                |
| 本 体 標 準 価 格 (税別)  |             |  | 1,200,000円<br>(ディスプレイ除く。)            | 678,000円<br>(60 Mバイト HDD)<br>698,000円<br>(80 Mバイト HDD) | 558,000円<br>(60 Mバイト HDD)<br>578,000円<br>(80 Mバイト HDD)<br>424,000円<br>(ACアダプタ, OS含む。) |

\* i486, i386は、米国インテル社の商標です。 \*\* 1スロットは標準の表示制御ボードで使用します。

新製品  
紹介

業界最高レベルの高速処理を実現した  
パーソナルCAD



パーソナルCAD “GMM-1600”

パーソナルCAD「GMMシリーズ」は、日立製作所のCAD専用パーソナルコンピュータに汎(はん)用CADソフトを付帯したシステム製品です。導入が簡単で操作性に優れ、周辺機器やアプリケーションソフトの豊富な品ぞろえなどで評価を得ています。

“GMM-1600”は、平成4年発売の高速機“GMM-1500”，平成5年1月発売の標準型“GMM-1010”に続き、同年4月に発売したGMMシリーズの最上位機です。従来機“GMM-1500”の1.7倍の高速処理を実現し、操作性を大きく向上させました。

1. 主な特長

- (1) 最新のCPUを採用するとともに、ターボキャッシュモジュールを標準搭載しました。またソフトウェアも改良し、再表示の高速化(従来機比1.7倍)、面積計算・ポップイン処理(部品図などを既存のデータから画面上に配置する機能)の高速化(従来機比3.0倍以上)、ドラッキング表示・ラバーバンド表示の高速化などを図り、全コマンドの快適レスポンスを実現しました。
- (2) 位置指定・拡大表示が行える割り込み機能と、多角形・折れ線などの一边を伸縮できるトリミング機能を強化しました。また、スプール数の拡大(プロッタ出力中でも作図が可能で、プロッタのスプールファイル数を従来の10から50に拡大)、ユーザー独自の図面管理機能を可能にするマクロコマンド機能の強化、高速表示モードでの最大表示倍率範囲を従来の32倍から最大

8,192倍まで拡大するなど、作業のいっそうの効率化を実現しました。

- (3) 従来機で作成した図面データ、アプリケーションソフトなど、ユーザーの既存資産も継承できます。

2. 主な仕様

“GMM-1600”の主な仕様を表1に示します。

(日立製作所 情報映像メディア事業部)

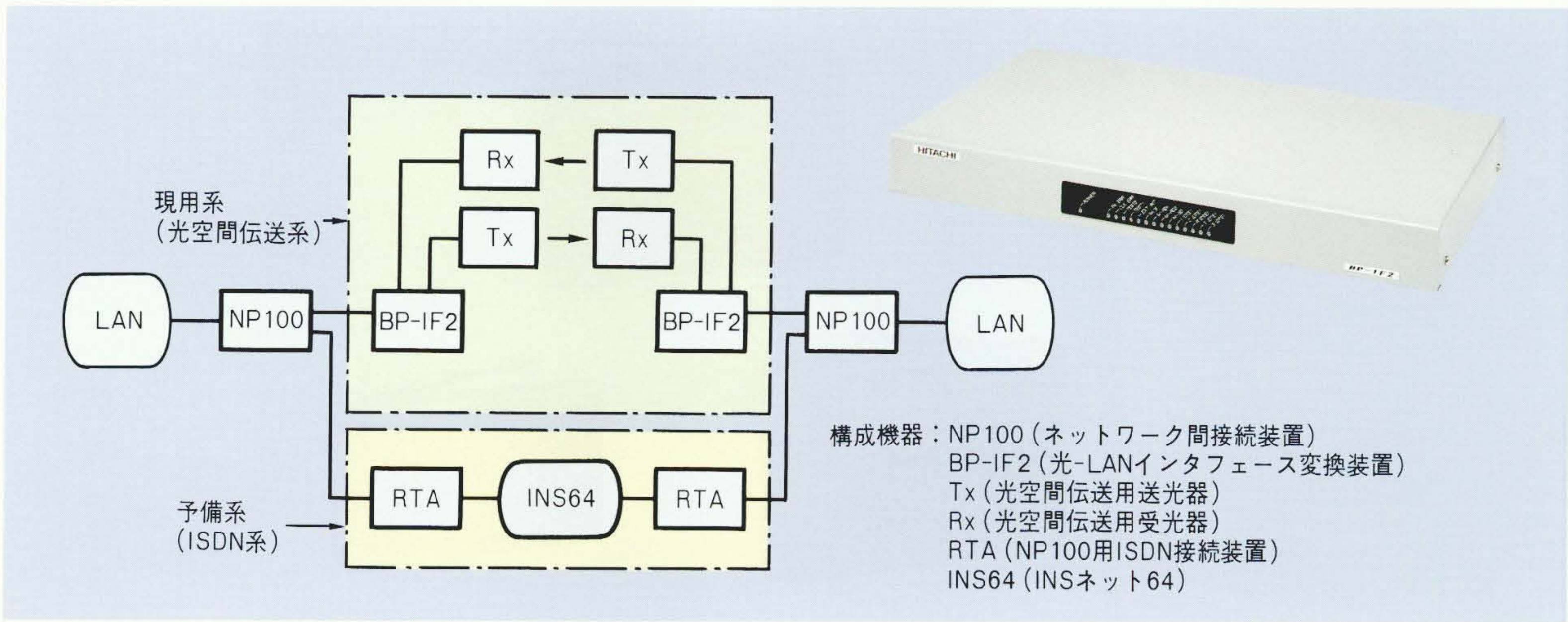
表1 主な仕様

| 項 目               | 仕 様                                                                               |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| C P U             | i486™* DX2マイクロプロセッサ(50 MHz)                                                       |
| メ イ ン メ モ リ       | 10 Mバイト(標準搭載)                                                                     |
| フ ロ ッ ピ ー デ ィ ス ク | 3.5インチ(1.2 Mバイト)×2                                                                |
| ハ ー ド デ ィ ス ク     | 80 Mバイトまたは250 Mバイト                                                                |
| 作 図 領 域           | −10 <sup>12</sup> mm×−10 <sup>12</sup> mm〜10 <sup>12</sup> mm×10 <sup>12</sup> mm |
| 作 図 色             | 4,096色中16色                                                                        |
| ウ イ ン ド ウ 倍 率     | $\frac{1}{100}$ 〜10,000倍                                                          |
| サ ブ ウ イ ン ド ウ     | 2〜4面                                                                              |
| デ ィ ス プ レ イ       | 解像度：1,120×780ドット(14型・21型)                                                         |
| 標 準 価 格 (税別)      | GMM-1600/80：4,950,000円<br>GMM-1600/250：5,450,000円                                 |

\* i486は、米国インテル社の商標です。

新製品  
紹介

# 回線ケーブル新設不要の LAN間接続用光空間伝送装置



光-X.21インタフェース変換器“BP-IF2”(右上)と推奨システム構成(左)

日立製作所は、このたび光-X.21インタフェース変換器“BP-IF2”を開発し、当社の送受光器およびルータと接続することによって実現する、LAN間接続用光空間伝送装置を平成5年4月から発売しました。

従来は、離れた地点のシステムを相互に接続する場合、専用回線、高速デジタル回線、ISDN回線を用いたり、あるいは新たに光ファイバを施設する必要がありました。そのため、通信回線料金や初期設備費用をより低額にするなどのニーズが高まり、回線ケーブルを施設せずに光通信を行うことができるLAN間接続用光空間伝送装置を開発しました。この装置は、光空間伝送であるため、新たに回線ケーブルを施設する必要がなく、短期間で容易に、かつ安価なランニングコストで接続を実現します。

## 1. 主な特長

- (1) 通信速度は最大1.536 Mビット/sで、大容量の通信が可能です。
- (2) この装置のインタフェース変換器であるBP-IF2は、国際標準であるCCITT勧告X.21インタフェースを搭載して機器の相互接続が容易にできるため、ユーザーのニーズに広くこたえることができます。
- (3) 幅425 mm×奥行235 mm×高さ44 mmと小型なので、19インチラックに搭載できます。省スペース化が図れる上、増設や移設が簡単です。
- (4) 警報信号発出機能を搭載しています。回線断が万

一起きても、警報信号によって障害発生を知らせるので、迅速に対応できます。

## 2. 主な仕様

光-X.21インタフェース変換器“BP-IF2”の主な仕様を表1に示します。

(日立製作所 光技術開発推進本部)

表1 主な仕様

| 項 目                    |             | 仕 様                                                                            |
|------------------------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 回 線 数                  |             | 1回線                                                                            |
| 通 信 方 式                |             | 全二重通信                                                                          |
| L A N 側<br>インタフェース構成   | インタフェース     | X.21                                                                           |
|                        | 通信速度(ビット/s) | 2.4k, 4.8k, 9.6k, 48k, 64k, 128k, 192k, 256k, 384k, 512k, 768k, 1,024k, 1.536M |
| 光 中 継 器 側<br>インタフェース構成 | 入出力信号レベル    | 1 Vpp±0.2 V                                                                    |
| 構 造                    |             | 屋内、19インチラックに搭載可能                                                               |
| 電 源                    |             | AC100 V±10% 50 Hz/60 Hz                                                        |
| 寸 法 (幅×奥行×高さ)          |             | 425 mm×235 mm×44 mm                                                            |
| 温 度                    |             | -10~40℃                                                                        |
| 標 準 価 格 (税別)           |             | 300,000円                                                                       |

新製品  
紹介

世界の電波を広く受信できる  
短波対応のポータブルラジオ



短波対応ポータブルラジオ, “KH-D650”(左), “KH-D850”(上), “KH-450”(右)

ビジネスの国際化や国際情勢の変化に伴い、最新情報へのアクセスがいっそう重要となっています。その有効なツールとして、短波にも対応したポータブルタイプのラジオ3機種を、平成5年5月から発売しました。株価情報や海外情報の収集、語学学習などに役立ちます。

1. 主な特長

(1) “KH-D850”

短波・中波・長波・FM放送と、4バンド対応の高性能ポータブルレシーバーを搭載しました。幅広い放送局から正確に受信できるデジタルシンセサイザーチューナーを採用し、選局方法はプリセット、マニュアルおよびスキンの3方法から選べます。また、FM放送ステレオモード、タイマーなど多彩な機能が充実

しています。

(2) “KH-D650”

短波・中波・FM放送の3バンドに対応できます。デジタルシンセサイザーチューナーを採用し、三つの選局方法を選べる高性能タイプです。

(3) “KH-450”

短波・中波・FMステレオ放送対応で、アナログチューナー方式です。過密な短波帯からの選局を、より同調しやすくするバンドスプレッド方式を採用しています。

2. 主な仕様

短波対応ポータブルラジオ3機種の主な仕様を表1に示します。

(日立製作所 家電事業本部)

表1 主な仕様

| 項 目                | 仕 様                             |                     |                    |
|--------------------|---------------------------------|---------------------|--------------------|
| 機 種                | KH-D850                         | KH-D650             | KH-450             |
| 選 局 方 式            | PLLシンセサイザー                      | PLLシンセサイザー          | アナログチューニング         |
| 回 路 方 式            | FM：スーパーヘテロダイ<br>AM：ダブルスーパーヘテロダイ | スーパーヘテロダイ           | スーパーヘテロダイ          |
| 受 信 バ ン ド          | FM・LW・MW・SW (オールバンド)            | FM・MW・SW (オールバンド)   | FM・MW・SW (7バンド)    |
| 実 用 最 大 出 力        | 340 mW                          | 285 mW              | 80 mW              |
| 使 用 ス ピ ー カ ー      | 7.6 cm                          | 6.4 cm              | 5 cm               |
| 電 源 (単三乾電池)        | 4 個 + 2 個 (バックアップ用)             | 4 個                 | 2 個                |
| 外 形 寸 法 (幅×奥行き×高さ) | 196 mm×38 mm×125 mm             | 170 mm×38 mm×112 mm | 125 mm×28 mm×71 mm |
| 重 さ (電池含む。)        | 730 g                           | 530 g               | 220 g              |
| 標 準 価 格 (税別)       | 37,800円                         | 18,500円             | 12,000円            |